

ⓧお取り扱いのご注意

1. Sensing Wave II (以下、本製品といいます) は医療機器ではございません。医療行為などには使用しないでください。
2. 電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、本製品が故障したり、データの検出が正しく行われなかったりするおそれがあります。
3. 40℃以上の環境で使用しないでください。電気カーペットや床暖房、電気毛布などをご使用の場合は、温度に注意してください。また、本製品の近くでストーブなどの暖房器具を使用しないでください。故障・変質・変形・火災などの原因になります。
4. 本製品をぶつけたり、落下させたりしないでください。破損・変形・故障のおそれがあります。
5. 本製品が敷いてある寝具の上で飛び跳ねたり、勢いよく座ったりするなどして、強い衝撃や、過度の荷重を与えないでください。故障の原因となります。
6. 本製品は、一人用の装置ですので二人以上では使用しないでください。ベットも不可です。
また本製品の最大利用者体重は 100kg です。100kg を超える方が使用すると、本製品が故障したり、検出・測定が正しく行われなかったりするおそれがあります。
7. 本製品を設置、移動するときは、取扱説明書に示す方法を正しく行い、取扱説明書に示す設置条件や設置方法、使用方法以外での取り扱いをしないでください。特に、凹凸や簀の子状態、振動のある場所では使用をしないでください。正確な測定、データの検出ができません場合があります。
8. 本製品を定期的に点検（ランプの点灯、ケーブル類の配線や断線、ほこり）してください。使用の頻度や環境により劣化するおそれがあります。定期的に破損の有無を点検してください。
9. 本製品の操作方法が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様含めて）に操作させないでください。
10. 本製品には水や液体をこぼさないでください。また浴槽内や液体物付近での使用や保管もお控えください。
11. 保管にあたっては、重いものを載せたり、不自然な加重がかかる状態で保管したりしないでください。
12. 本製品は、お客様による修理・分解・改造をしないでください。本製品が故障した場合は、弊社または弊社の指定事業者に点検、修理を依頼してください。
13. 電波、無線通信に関する注意
(1) 本製品に内蔵されている無線 LAN は、電波法に基づき小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、特定無線設備の認可を受けています。したがって、本製品を使用するときには無線局の免許は必要ありません。また、本製品の無線機能は日本国内でのみ使用できます。
(2) 本製品が無線通信時に使用する 2.4GHz 帯の電波は、以下の機器や無線局が運用する同じ周波数帯を使用しています。
1 電子レンジ 2 産業・科学・医療用機器 3 工場製造ラインなどで使用される移動体識別用無線局 ①無線局（免許を要する無線局）②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
(3) 本製品の無線機能を使用する際には、電波干渉するおそれがあるため、近くで上記機能や無線局が稼働していないことを確認してください。
万一、本製品から移動帯識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合、使用場所を変更するなどして電波干渉を回避してください。
14. 心臓ペースメーカーなどの医療機器と併用する場合は、各医療機関や施設の案内および指示に従い、安全を確認してからご使用ください。誤作動するおそれがあります。
15. AC アダプター・ケーブルに関する注意事項
(1) 傷つけたり、無理な力を加えたりしないでください。感電・火災のおそれがあります。傷んだ場合は修理を依頼してください。
(2) ほこりを付着させないでください。表面にほこりが付着していると、発火するおそれがあります。ほこりが付着している場合、乾いた布などでよくふき取ってください。
(3) 正しく配線を行ってください。正しくデータが検出できなかったり、ケーブルが破損したりして、感電・火災のおそれがあります。
また、ケーブルに足が引っ掛かり、転倒のおそれがあります。特に以下の項目にご注意ください。
・ベッドの可動部やサイドレールなどでケーブルを挟まないようにしてください。
・ケーブルに足が引っ掛からない位置に配線してください。
・ケーブルをねじる、引っ張るなど、無理な力を加えないでください。
・ベッドを移動する際は、本製品を外してください。
16. その他、本製品を使用する際は、取扱説明書に記載されている内容通りに正しくお使いください。

免責事項

1. お客様の故意、過失、誤使用による故障および損傷
2. 不当な改造や修理による故障および損傷 弊社または弊社の指定事業者以外（お客様ご自身を含む）の設置、組立て、分解、修理、改造、メンテナンスなどによる不具合
3. 弊社が指定する適用品以外の製品と組み合わせて使用したことによる本製品及び当該適用品以外の製品の故障及び損傷並びにこれに伴って生じる損害
4. お買い上げ後の、落下あるいは輸送による故障および損傷
5. 火災、煙害、塩害、公害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変、不可抗力などによる故障、損傷及び損害
6. 本製品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗等、変形、変色、表面のツヤ変化カビ、汚れ等）その他これらに類する不具合
7. 本製品納入後の操作誤り、調整不備、保管不備による不具合（例えば、高温多湿の場所での保管、製品保証期間を超える長期保管、水漏れによる不具合、直射日光に暴露されるような保管等）
8. 使用場所を起因とする本製品の通信不具合
9. 接続する他の機器の異常により生じる故障および損傷
10. 「お取り扱いのご注意」に記載された内容に反する取扱いによって生じた不具合
11. 本製品の故障に起因する付随的な損傷、損害（本製品を使用できないことに起因する逸失利益その他の損害、データ内容の変化、消失、接続機器の破損やそれに伴う逸失利益）
12. 本製品の引渡時において実用化されている技術、知識では予測することが可能な現象又はこれが原因で生じた不具合及び損害
13. 本製品の仕様は予告なしに変更する可能性があります。

補償

1. 上記「お取り扱いのご注意」に反する取扱いによる不具合、「保証期間、保証範囲」以外の不具合、「免責事項」に該当する事項については、補償の対象外とします。
2. 本製品を本来の使用目的以外の用途に使用する場合には、本製品について一切の責任を負いません。
3. 本製品が取扱説明書または納入仕様書に記載の製品性能を満たさない場合の補償は、修補、代替品の納入、本製品の返金を限度とした範囲内での対応といたします。

保証期間、保証範囲

1. 本製品の保証期間はご購入日より 1 年間とします。
2. 本製品の保証の範囲は、取扱説明書または納入仕様書に記載された内容とします。
3. 本製品は日本国内においてのみ有効です。

仕様

寸法	制御通信BOX部	105×105×25mm
	センサーマッド部	835×290×19mm（チューブ含む）
質量		376g ±25
無線LAN 周波数範囲		2.4GHz-2.5GHz
使用電源		USB 5.0V, 500mA

※ その他詳細はお問い合わせください



TOPPAN 株式会社

凸版印刷株式会社は、2023年10月に予定している持株会社体制への移行にあたり、持株会社の商号を「TOPPANホールディングス株式会社」とし、凸版印刷の事業を継承する事業会社を「TOPPAN株式会社」とします。

お問い合わせ

生活・産業事業本部 環境デザイン事業部 ビジネスデザイン本部
〒110-8560 東京都台東区台東1丁目5番1号
Mail: sensing.w@toppan.co.jp

＼ HPはこちら ／

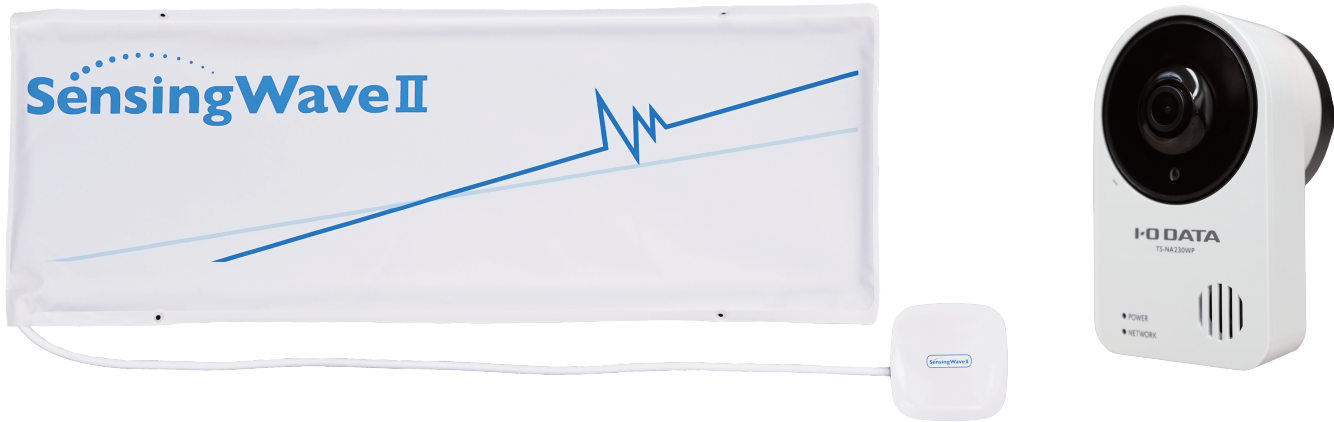


TOPPAN 2025.6 K I

TOPPAN

非接触型センサーとカメラによる介護見守りシステム

SensingWave II



補助金
・
介護報酬
加算対象



簡単操作
・
設定



業務効率化
・
転倒転落予防



詳しい製品情報はこちらからご覧いただけます

SensingWave II

SensingWave II はベッドマットレス下に設置するセンサーとカメラによる見守りシステムです。
リアルタイムで利用者の状態を確認でき、お知らせ通知で訪室必要性を判断できるため、スタッフの業務負担軽減や転倒転落予防につなげることができます。



システム構成

SensingWave II は Wi-Fi 環境を利用するクラウドシステムです。

専用サーバーは不要

専用端末やサーバーは不要です。
PC・タブレット・スマホ等、デバイスの種類は問わず、閲覧にはブラウザを使用します。

スマホアプリも利用可能

iOS 限定でアプリの利用も可能です。
画面を見ていなくても通知に気が付きすぐに対応することができます。

特徴

1 離床速報性

離床を平均 3 秒で検知します。お知らせ設定で離床後すぐに駆け付けことができ、離床センサーの役割を担うこともできます。

2 設置・設定がかんたん

コンセントに挿すだけで設置でき、設置工事也不要です。操作や設定もシンプルのため、機械に不慣れな方でも安心してご利用頂けます。

3 カメラとセットで見守り強化

センサーで睡眠やバイタル等の状態確認、カメラで身体の動きを確認。
データと視覚情報により訪室の判断やケアの質を高めることに繋がられます。



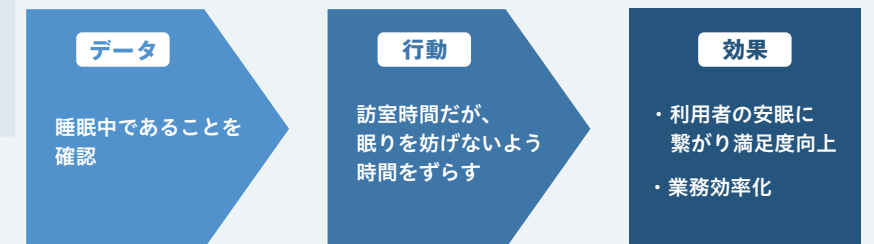
機能・活用方法について

01 夜間巡視削減

「ダッシュボード画面」で利用者の在床状態・心拍相当数・呼吸相当数を把握できます。
遠隔での状態確認によって夜間巡視を効率化することができます。



● 活用例 - 利用者の睡眠を妨げない巡回 -

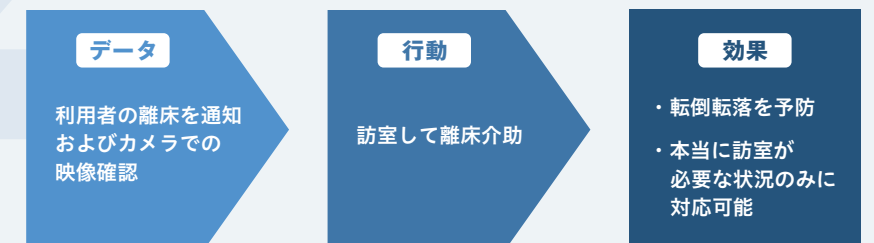


02 転倒転落予防

睡眠の深さは一覧画面の他に、波形で確認することができます。前日・前々日の波形と比較することも可能です。提供ケアによる睡眠状態の変化をデータで確認できます。

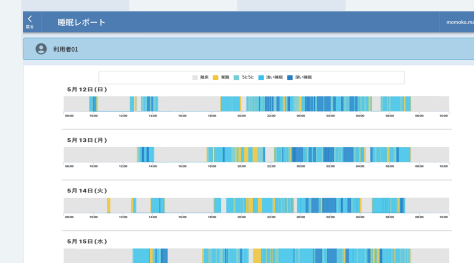


● 活用例 - 昼寝の習慣の改善 -



03 睡眠レポート活用

「睡眠レポート画面」では、青のグラデーションで睡眠の深さ、黄色で覚醒を把握できます。
睡眠時間や、夜間の離床回数も知ることができるため、利用者の生活傾向を把握し、ケアの質を高める動きに繋げることができます。



● 活用例

